

Life In Sopron

— ショプロンでの生活 —

日本語語学指導員現地レポート VOL. 7

第9代日本語語学指導員 栗原 拓実さん

花輪出身。市の外国人向け日本語教室での講師経験を生かして渡航。

ブログ公開中 <http://ta93sopron.blogspot.jp/>

詳しい様子はこちらで紹介しています。ぜひご覧ください。



ショプロン市内で見かけた秋田犬

平昌オリンピックが終了し、フィギュアスケート女子シングルメダリストのアリーナ・ザギトワ選手に、秋田犬保存会から秋田犬一匹が贈呈されることが日本で話題になっているようですが、今回は、ショプロンで出会った秋田犬とショプロンのペット事情について紹介します。

先日、ご近所さんから、「Akita Kenの絵があるから、見せたい」と言われ、「秋田県の風景の絵」だろうと思い込んで行くと、そこには、真正正銘の「秋田犬」の絵があり、とても驚きました。後日、秋田犬を飼っている別の家にも案内してもらいましたが、まさかショプロンに来て秋田犬を見られるとは思ってもみませんでした。

後で調べてみると、秋田犬はハンガリーを含め、ヨーロッパの多くのペット好きの間でも有名で人気が高く、そのたくましい容姿や風貌もさることながら、「忠犬ハチ公」の話も広く知れ渡っており、主人に対する従順さや忠実さという秋田犬ならではの特質が人々を魅了しているようです。これほどまでに秋田犬が秋田と世界を結びつけてい

ることに驚きました。ただし、秋田犬を実際に購入するとなると、それなりの値段がするようです。



見せていただいた秋田犬の絵

2015年の調査データによると、ハンガリーでは全世帯のうち約7割がペットを所有しているということ。実際、朝や夕方犬の散歩をしている人をよく見かけますが、日本語教室の受講生やショプロン市職員、ご近所さんなど、ほとんどの人が犬や猫などのペットを飼っていました。日本人もペット好きが多いですが、所有率は全世帯の約3割ということなので、ハンガリーの人々が、いかにペット好きかが分かります。

また、ショプロンでは野良犬や野良猫を一匹も見かけたことがありません。ヨーロッパでは、ペットを飼うことに対する飼

主の責任の意識がとても高いと感じています。ところ、皆さんは、ハンガリー原産の犬をご存知でしょうか。私が特にユニークだと感じたのが「Puli」と「KOMONDOR」です。どちらもよじれた長い縄状の被毛が特徴的で、もともとは牧羊犬として飼われていました。今ではペットとして飼われていることが多く、ショプロンではよく見かけます。日本ではあまり見かけないかもしれませんが、見かけた時にはハンガリーの犬だと思いついてみてください。



コモンドール



プリー

角ぐむ「鹿角」ブランドアップ通信⑦

かづのシテイプロモーション事業第6号に認定

「大日堂舞楽伝承千三百年記念公演」

1300年の長きにわたり、古式ゆかしく伝承されてきた「大日堂舞楽」。これまでの歴史をPRする記念公演を5月13日(日)に文化の杜交流館コモッセで開催します。

ブランド形成の推進力に

市では、鹿角独自の都市ブランドを形成するため、地域の誇るべき資源を全国に発信し、鹿角の魅力や認知度を高めていく取り組みを進めています。これまで、伝統の紫根染・茜染を生かしたイベントや、地域開発映画の撮影をかづのシテイプロモーション事業として認定し、支援してきました。

今回の記念公演は、国際的に認められたユネスコ無形文化遺産「大日堂舞楽」の価値を市内外に周知する貴重な機会となり、本市の取り組みを大きく前進させることから、かづのシテイプロモーション事業の第6号に認定しました。

注目は宮中雅楽との共演

記念公演の主体は、小豆沢、大里、長嶺、谷内の4集落による大日堂舞楽伝承千三百年事業実行委員会です。舞楽に対する関心や理解を高めるため、同じ渡来系のルーツを持つ「宮中雅楽」を招き、二部構成で公演します。宮中で洗練されていた雅楽と比較することで、民衆の間で素朴な形をとどめて伝承されてきた大日堂舞楽をより身近に感じることができそうです。鹿角に根付く郷土の歴史と伝統をぜひご体感ください。

問 政策企画課 総合戦略室 30-0201

記念公演日程

5/13日

12時開演 (開場 11時30分)

文化の杜交流館コモッセ

S席 6,000円 / A席 5,000円 /

B席 3,500円 (全席指定)

文化の杜交流館コモッセ

☎ 30-1504

出演団体の紹介

大日堂舞楽保存会

太平への祈り 神々の舞

大日堂舞楽は、元正天皇の養老2年(718)に天皇の勅令により大日靈貴神社が再建された際に、名僧行基とともに都から下向した楽人が舞った祝賀の舞楽が里人に伝えられたものが起源と言われています。以降、幾多の変遷を経ながら、厳重な潔斎を務めて奉仕する神事として1300年間受け継がれてきました。

昭和27年、当時の文部省から無形文化財の指定を受けたのを機に大日堂舞楽保存会が結成され、昭和51年には国指定重要無形文化財に指定、平成21年にはユネスコ無形文化遺産に登録されています。

十二音会 悠紀の国に捧ぐ 国風歌舞

十二音会は、宮内庁式部職楽部の現役とOBの楽師が中心となって昭和52年に結成した国内最高峰の雅楽演奏団体です。

今回演奏される「悠紀地方風俗歌舞」は、大嘗祭で天皇に捧げる新米を提供する地域に秋田県が選ばれた際に、その地名を織り込んだ和歌が作られ、秋田県民謡の旋律を入れて作曲されたものです。箏や笛の他に和琴と笏拍子が伴奏で加わり、日本古来の清楚な雰囲気や歌謡と、華やかなイメージの舞楽の融合を楽しむことができます。

